# 令和6年度決算説明資料

# 目次

I 令和6年度収支決算について	
1 収支の状況	
(1) 収支の概要	1P
(2) 収支の推移	2P
① 概要 ———————————————————————————————————	2P
② 令和5年度決算との比較(病院別)—————	3P
Ⅱ 令和6年度資産・負債・純資産及び留保資金の状況について	
1 資産・負債・純資産の状況	7P
2 施設整備・医療機器等購入について ————————————————————————————————————	8P
3 企業債(移行前地方債償還債務)・長期借入金の状況	9P
4 留保資金の状況	9P
資料編	
1 各年度決算比較	
(1) 収支の状況 ————————————————————————————————————	11P
(2) 収入の状況 ————————————————————————————————————	12P
(3) 支出の状況	17P

### I 令和6年度収支決算について

## 1 収支の状況

### (1) 収支の概要

令和6年度収支決算は、収入合計655.7億円に対し、支出合計は689.8億円で、差引損益は34.1億円の赤字となった。

これにより、繰越利益剰余金は 0 円となり、なお不足する 30.4 億円については、繰越欠損金として 処理する予定である。

## (表1)令和6年度収支決算

			合 計		病	 完 別	単位∶億円
区 分		一般 1,369床 精神 48床 感染症 16床 計 1,433床	広島市民病院 一般 715床 精神 28床 計 743床	安佐市民病院 一般 414床 精神 20床 計 434床	舟入市民病院 一般 140床 感染症 16床 計 156床	リハピリテーション病院 一般 100床 自立訓練施設 定員 60名	
		入院収入	389.9	220.5	136.3	17.3	15.8
	医	外来収入	191.1	114.7	62.9	12.6	0.9
	業 収	計	581.0	335.2	199.2	29.9	16.7
収	益	その他	10.1	6.1	2.7	1.1	0.2
入		小 計	591.1	341.3	201.9	31.0	16.9
	運営費負担金·交付金 その他収入 合 計		53.2	16.3	17.6	12.2	7.1
			11.4	3.6	5.4	1.1	1.3
			655.7	361.2	224.9	44.3	25.3
	給与費		328.3	173.7	108.4	25.7	20.5
	材料	費	217.4	135.0	73.9	8.0	0.5
支	経費		91.2	45.1	31.0	9.5	5.6
出	減価	償却費	45.5	19.1	22.0	3.4	1.0
	その	他	7.4	4.0	2.4	0.5	0.5
		合 計	689.8	376.9	237.7	47.1	28.1
		差引損益	▲ 34.1	▲ 15.7	▲ 12.8	▲ 2.8	▲ 2.8

<sup>※1</sup> 本部事務局分は、各病院の職員数、事業規模等に基づき、本部経費が充てられる割合に応じて按分している。 (按分比広島 49.8%、安佐 26.1%、舟入 13.6%、リハ 10.5%)

<sup>※2</sup> 北部医療センター安佐市民病院は、以降の資料では、「安佐市民病院」又は「安佐」と表記している。

### (2) 収支の推移

### ① 概要

法人化初年度の平成 26 年度は黒字であったが、その後収支が悪化したため、職員一丸となって経営改善に取組んだ結果、収支改善が図られ、30 年度は 4.1 億円の黒字を計上した。

しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により入院・外来患者数が減少し、元年度は 1.9 億円の赤字となった。このため、一層の経費節減や収入増に取組んだことに加え、新型コロナウイルス感染症に積極的に対応したことによる補助金収入もあって、2 年度 3 年度は黒字に転換した。

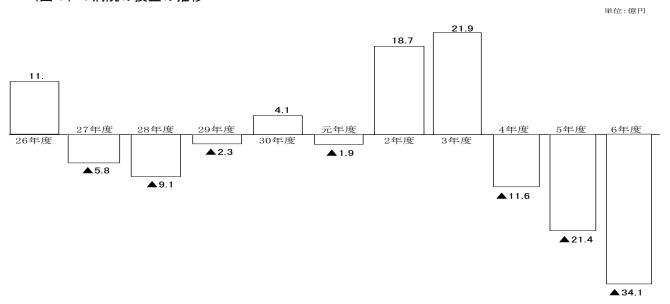
4年度の収支状況は、安佐市民病院の移転に伴う費用の増加等により経費支出が増加したことから、11.6 億円の赤字となった。

5 年度の収支状況は、新型コロナウイルス感染症に係る補助金等の減少や、給与改定等により給与費が 増加したことから 21.4 億円の赤字となった。

6年度の収支状況は、新型コロナウイルス感染症に係る補助金等が 4.9億円減少したものの、診療単価の増等により入院・外来収入が 14億円増加するなどし、収入合計は前年度に比べ 15.5億円増加した。一方、支出については、減価償却費が 1.2億円減少したものの、給与改定等により給与費が 20億円増加し、高額医薬品の使用の増加等により材料費が 9.3億円増加したことから、支出合計は前年度に比べ 28.2億円増加した。

その結果、差引損益は前年度に比べ12.7億円減少し、34.1億円の赤字となった。

### (図1)4病院の損益の推移



(表2) 病院別内訳

(AZ Z ) MAIDLON PAIDL									
区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度				
広島市民病院	5.6	<b>▲</b> 4.3	<b>▲</b> 5.3	<b>▲</b> 4.2	0.7				
安佐市民病院	5.8	0.0	<b>▲</b> 3.7	1.0	2.6				
舟入市民病院	1.0	0.0	1.5	1.4	1.6				
リハヒ゛リテーション病院	<b>▲</b> 1.3	<b>▲</b> 1.5	<b>▲</b> 1.6	<b>▲</b> 0.5	▲ 0.8				
計	11.1	<b>▲</b> 5.8	<b>▲</b> 9.1	<b>▲</b> 2.3	4.1				

区分	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
広島市民病院	<b>▲</b> 3.2	3.7	7.1	4.8	<b>▲</b> 6.7	<b>▲</b> 15.7
安佐市民病院	1.6	10.5	5.7	<b>▲</b> 23.8	<b>▲</b> 14.8	<b>▲</b> 12.8
舟入市民病院	1.0	5.5	10.6	8.7	1.6	<b>▲</b> 2.8
リハヒ゛リテーション病院	<b>▲</b> 1.3	<b>▲</b> 1.0	<b>▲</b> 1.5	<b>▲</b> 1.3	<b>▲</b> 1.5	<b>▲</b> 2.8
計	<b>▲</b> 1.9	18.7	21.9	<b>▲</b> 11.6	<b>▲</b> 21.4	<b>▲</b> 34.1

### ② 令和5年度決算との比較(病院別)

### (7) 広島市民病院

収入については、入院収入は DPC 包括評価の増などによる診療単価の増などにより 6.5 億円増加し、外来収入は注射薬剤の増などによる診療単価の増により 3.7 億円増加した。また、その他収入は新型コロナウイルス感染症に係る補助金の皆減などにより 2.7 億円減少した。これらから、収入合計は前年度に比べ 8.3 億円増加した。

一方、支出については、給与費は給与改定などにより 10.4 億円増加し、材料費は抗体薬の増などにより 6.2 億円増加した。また、経費は建物総合管理業務の増などによる委託料などの増により 2.1 億円増加した。これらから、支出合計は前年度に比べ 17.3 億円増加した。

その結果、差引損益は前年度に比べ9億円減少し、15.7億円の赤字となった。

(表3) 収支の推移

127	<i></i>	4X文07推修				単位: 10円
		区 分	3年度	4年度	5年度	6年度
		入院収入	205.6	208.7	214.0	220.5
		対前年度増減	-	3.1	5.3	6.5
		外来収入	101.8	107.8	111.0	114.7
	医	対前年度増減	-	6.0	3.2	3.7
	業収	小 計	307.4	316.5	325.0	335.2
	益	対前年度増減	-	9.1	<i>8.5</i>	10.2
収		その他	5.6	5.2	5.7	6.1
-		対前年度増減	-	<b>▲</b> 0.4	0.5	0.4
入		計	313.0	321.7	330.7	341.3
1	運賃	営費負担金・交付金	19.4	16.1	15.9	16.3
	夵	r 前年度増減	-	<b>▲</b> 3.3	<b>4</b> 0.2	0.4
	その他収入		14.5	13.2	6.3	3.6
	対前年度増減		-	<b>1</b> .3	<b>▲</b> 6.9	<b>▲</b> 2.7
	合 計		346.9	351.0	352.9	361.2
	対前年度増減		-	4.1	1.9	8.3
	給与	产費	158.3	159.5	163.3	173.7
	夵	<i>前年度増減</i>	-	1.2	3.8	10.4
	材米	斗費	116.2	121.1	128.8	135.0
	夵	<i>前年度増減</i>	-	4.9	7.7	6.2
	経費	<b>\$</b>	39.3	42.0	43.0	45.1
支	夵	<i>†前年度増減</i>	-	2.7	1.0	2.1
出	減値	<b>西償却費</b>	21.6	19.5	19.8	19.1
	充	#前年度増減	-	<b>▲</b> 2.1	0.3	<b>▲</b> 0.7
	その	)他	4.4	4.1	4.7	4.0
	丸	+前年度増減 	-	<b>▲</b> 0.3	0.6	<b>▲</b> 0.7
		合 計	339.8	346.2	359.6	376.9
	葯	+前年度増減	-	6.4	13.4	17.3
		差引損益	7.1	4.8	<b>▲</b> 6.7	<b>▲</b> 15.7
豹	前年	度増減	-	<b>▲</b> 2.3	<b>▲</b> 11.5	<b>4</b> 9.0

<sup>※「</sup>その他」の内訳は、以下のとおり

① 医業収益の「その他」は、室料差額収益及び診断書料等のその他医業収益

② 収入の「その他」は、補助金等収益、寄附金収益、預金利息等の財務収益及び駐車場使用料等

③ 支出の「その他」は、資産減耗費、研究研修費、支払利息及び雑支出

### (イ) 安佐市民病院

収入については、入院収入は平均在院日数の短縮などによる診療単価の増により 1.4 億円増加し、外来収入は化学療法患者の増などによる診療単価の増により 4.1 億円増加した。また、運営費負担金・交付金は建替えに係る長期借入金の償還金の増などにより 5.3 億円増加した。これらから、収入合計は前年度に比べ 10.2 億円増加した。

一方、支出については、給与費は給与改定などにより 6.5 億円増加し、材料費は抗がん剤の増などにより 3.9 億円増加した。また、その他支出は旧病院の解体費用などが皆減したことにより 3.2 億円減少した。これらから、支出合計は前年度に比べ 8.2 億円増加した。

その結果、差引損益は前年度に比べ2億円増加し、12.8億円の赤字となった。

(表4) 収支の推移

衣 4	+ /	収文の推移				単位:億円
		区 分	3年度	4年度	5年度	6年度
		入院収入	120.8	125.2	134.9	136.3
	対前年度増減		-	4.4	9.7	1.4
		外来収入	53.2	51.7	58.8	62.9
	医	対前年度増減	-	<b>▲</b> 1.5	7.1	4.1
	業 収	小 計	174.0	176.9	193.7	199.2
	益	対前年度増減	_	2.9	16.8	5.5
収		その他	2.1	2.5	2.8	2.7
		対前年度増減	-	0.4	0.3	<b>▲</b> 0.1
入		計	176.1	179.4	196.5	201.9
	運貨	営費負担金・交付金	7.2	13.8	12.3	17.6
	対前年度増減		-	6.6	<b>▲</b> 1.5	5.3
	その他収入		20.4	9.2	5.9	5.4
	対前年度増減		-	<b>▲</b> 11.2	<b>▲</b> 3.3	<b>▲</b> 0.5
	合 計		203.7	202.4	214.7	224.9
	対前年度増減		-	<b>▲</b> 1.3	12.3	10.2
	給与費		94.2	99.5	101.9	108.4
	充	<i>†前年度増減</i>	-	<i>5.3</i>	2.4	6.5
	材料費		59.9	60.5	70.0	73.9
	対前年度増減		-	0.6	9.5	3.9
	経輩	<b>*</b>	23.9	33.1	29.6	31.0
支	太	<i>  前年度増減</i>	_	9.2	<b>▲</b> 3.5	1.4
出	減値	<b></b>	17.9	21.4	22.4	22.0
	太	<i>  前年度増減</i>	_	3.5	1.0	<b>▲</b> 0.4
	その	D他	2.1	11.7	5.6	2.4
	充	<i>†前年度増減</i>	-	9.6	<b>▲</b> 6.1	<b>▲</b> 3.2
		合 計	198.0	226.2	229.5	237.7
	太	前年度増減	-	28.2	3.3	8.2
		差引損益	5.7	<b>▲</b> 23.8	<b>▲</b> 14.8	<b>▲</b> 12.8
夵	前年	度増減	_	<b>▲</b> 29.5	9.0	2.0

<sup>※「</sup>その他」の内訳は、以下のとおり

① 医業収益の「その他」は、室料差額収益、人間ドック等の公衆衛生活動収益及び診断書料等のその他医業収益

② 収入の「その他」は、補助金等収益、寄附金収益、預金利息等の財務収益及び駐車場使用料等

③ 支出の「その他」は、資産減耗費、研究研修費、支払利息及び雑支出

### (ウ) 舟入市民病院

収入については、総合診療科の開設などにより入院収入は 0.4億円増加したが、外来収入は小児感染症患者の減などにより 2.0億円減少した。また、その他収入は新型コロナウイルス感染症に係る補助金の皆減などにより 1.6億円減少した。これらから、収入合計は前年度に比べ 2.9億円減少した。

一方、支出については、給与費は給与改定などにより 1.9 億円増加し、経費は建物総合管理業務などの委託料などの増等により 0.3 億円増加した。また、材料費は抗がん剤の減などにより 0.6 億円減少した。これらから、支出合計は前年度に比べ 1.5 億円増加した。

その結果、差引損益は前年度に比べ4.4億円減少し、2.8億円の赤字となった。

## (表5) 収支の推移

表	5)	収文の推移			_	単位:億円
		区 分	3年度	4年度	5年度	6年度
		入院収入	16.5	16.6	16.9	17.3
		対前年度増減	_	0.1	0.3	0.4
		外来収入	10.1	13.4	14.6	12.6
	医	対前年度増減	-	3.3	1.2	<b>A</b> 2.0
	業収	小 計	26.6	30.0	31.5	29.9
	益	対前年度増減	-	3.4	1.5	<b>1</b> .6
収		その他	0.9	0.8	1.0	1.1
10		対前年度増減	_	<b>▲</b> 0.1	0.2	0.1
入		計	27.5	30.8	32.5	31.0
	運営		11.2	11.0	12.0	12.2
	対前年度増減		_	<b>▲</b> 0.2	1.0	0.2
	その	)他収入	14.8	11.6	2.7	1.1
	丸	<i>計手度増減</i>	-	<b>▲</b> 3.2	<b>▲</b> 8.9	<b>1</b> .6
		合 計	53.5	53.4	47.2	44.3
	丸	<i>計前年度増減</i>	-	<b>▲</b> 0.1	<b>▲</b> 6.2	<b>▲</b> 2.9
	給与	产費	24.1	23.8	23.8	25.7
	丸	<i>†前年度増減</i>	-	<b>A</b> 0.3	0.0	1.9
	材米		5.8	7.3	8.6	8.0
	丸	<i>†前年度増減</i>	-	1.5	1.3	<b>▲</b> 0.6
	経費	+ 1	9.4	10.2	9.2	9.5
支	丸	<i>†前年度増減</i>	-	0.8	<b>1</b> .0	0.3
出	減值	<b></b> 面償却費	2.5	2.3	3.2	3.4
	丸	<i>計前年度増減</i>	-	<b>▲</b> 0.2	0.9	0.2
	その	)他	1.1	1.1	0.8	0.5
	丸	<i>計年度増減</i>	-	0.0	<b>4</b> 0.3	<b>▲</b> 0.3
		合 計	42.9	44.7	45.6	47.1
	充	<i>前年度増減</i>	_	1.8	0.9	1.5
		差引損益	10.6	8.7	1.6	<b>▲</b> 2.8
求	前年	度増減	-	<b>▲</b> 1.9	<b>▲</b> 7.1	<b>4</b> .4

<sup>※「</sup>その他」の内訳は、以下のとおり

- ① 医業収益の「その他」は、室料差額収益、公衆衛生活動収益及び診断書料等のその他医業収益
- ② 収入の「その他」は、補助金等収益、寄附金収益、預金利息等の財務収益及び駐車場使用料等
- ③ 支出の「その他」は、資産減耗費、研究研修費、支払利息及び雑支出

### (エ) リハビリテーション病院・自立訓練施設

収入については、入院収入は診療報酬改定などによる診療単価の減などにより 0.1 億円減少した。また、運営費負担金・交付金は保健衛生行政などにおいて 0.1 億円増加し、その他収入は利用者の減による自立訓練施設収益の減などにより 0.1 億円減少した。これらから、収入合計は前年度に比べ 0.1 億円減少した。

一方、支出については、給与費は給与改定などにより 1.2 億円増加し、経費は電子カルテ更新に伴う 部門システム接続改修業務委託などにより 0.4 億円増加した。また、減価償却費は電気設備等設備の償 却期間終了などにより 0.3 億円減少した。これらから、支出合計は前年度に比べ 1.2 億円増加した。 その結果、差引損益は前年度に比べ 1.3 億円減少し、2.8 億円の赤字となった。

### (表6) 収支の推移

単位:億円
-------

	_ ,	区 分	3年度	4年度	5年度	6年度
		入院収入	15.8	15.6	15.9	15.8
		対前年度増減		<b>▲</b> 0.2	0.3	<b>▲</b> 0.1
		外来収入	0.8	0.8	0.9	0.9
	医	対前年度増減	_	0.0	0.1	0.0
	業収	小計	16.6	16.4	16.8	16.7
	益	対前年度増減	_	<b>▲</b> 0.2	0.4	<b>▲</b> 0.1
収		その他	0.4	0.3	0.2	0.2
400		対前年度増減	-	<b>△</b> 0.1	<b>▲</b> 0.1	0.0
入		計	17.0	16.7	17.0	16.9
	運賃	営費負担金·交付金	7.2	8.1	7.0	7.1
	対前年度増減		-	0.9	<b>1</b> .1	0.1
	その他収入		1.3	1.5	1.4	1.3
	対前年度増減		-	0.2	<b>▲</b> 0.1	<b>▲</b> 0.1
	合 計		25.5	26.3	25.4	25.3
	対前年度増減		-	0.8	▲ 0.9	<b>▲</b> 0.1
	給与	<b>予費</b>	18.8	19.4	19.3	20.5
	充	<i>計前年度増減</i>	-	0.6	<b>▲</b> 0.1	1.2
	材米	斗費	0.5	0.6	0.7	0.5
	太	<i>†前年度増減</i>	-	0.1	0.1	<b>▲</b> 0.2
	経費	ŧ	4.9	5.3	5.2	5.6
支	太	<i>†前年度増減</i>	_	0.4	<b>▲</b> 0.1	0.4
出	減位	<b>西償却費</b>	2.2	1.8	1.3	1.0
	太	<i>†前年度増減</i>	_	▲ 0.4	<b>▲</b> 0.5	<b>▲</b> 0.3
	その	)他	0.6	0.5	0.4	0.5
	太	<i>†前年度増減</i>	_	<b>▲</b> 0.1	<b>▲</b> 0.1	0.1
		合 計	27.0	27.6	26.9	28.1
	太	†前年度増減	_	0.6	<b>▲</b> 0.7	1.2
		差引損益	<b>▲</b> 1.5	<b>▲</b> 1.3	<b>▲</b> 1.5	<b>2.8</b>
充	前年	度増減	_	0.2	<b>▲</b> 0.2	<b>▲</b> 1.3

<sup>※「</sup>その他」の内訳は、以下のとおり

① 医業収益の「その他」は、室料差額収益、公衆衛生活動収益及び診断書料等のその他医業収益

② 収入の「その他」は、補助金等収益、寄附金収益、自立訓練施設収益、預金利息等の財務収益及び駐車場使用料等

③ 支出の「その他」は、資産減耗費、研究研修費、支払利息及び雑支出

### Ⅱ 令和6年度資産・負債・純資産及び留保資金の状況について

### 1 資産・負債・純資産の状況

### (1) 固定資産

広島市民病院の診断支援画像ネットワークシステム購入等により 39.1 億円増加し、減価償却等により 60.7 億円減少したことから 21.7 億円減の 701.4 億円となった。

### (2) 流動資産

給与改定等による人件費の増加に伴う給与費の支払いを行ったことなどにより現金預金が 42.5 億円減少し、入院・外来収入増加に伴う未収金等が 5.1 億円増加し、全体としては 37.4 億円減の 223.7 億円となった。

### (3) 固定負債

施設整備、医療機器購入等の財源として、広島市からの長期借入金が減少したことから、全体としては 36.2 億円減の 629.5 億円となった。

## (4) 流動負債

施設整備、医療機器購入等に係る未払金が減少し、一年以内に返済予定の長期借入金の増加等により 10.1 億円増の 135.1 億円となった。

### (5) 資本金

資本金は、広島市からの出資金 181.4 億円で、期首から増減はない。

### (6) 資本剰余金

リハビリテーション病院の土地に対する移行前地方債の償還にかかる広島市からの運営費負担金等により1.1億円を計上し9.5億円となった。

### (7) 利益剰余金

前中期目標期間繰越積立金 3.7 億円から、当期未処理損失として収支決算の赤字額 34.1 億円を計上 し、繰越欠損金 30.4 億円の見込みとなった。

(表7)貸	借対照表	(全体)				単位:億円
区		分		5年度末残高 A	6年度末残高 B	増 ▲ 減 B-A
資	産					
固	定	資 点	奎	723. 1	<u>701. 4</u>	<u>▲ 21.7</u>
流	動	資 点	産	261. 1	223.7	<u>▲ 37.4</u>
<b>美</b>	見 金	預	金	152. 2	109.7	<u>▲ 42.5</u>
1 }	卡 収	3	金	105. 2	110.3	<u>5. 1</u>
7	そ の	f	也	3. 7	3. 7	▲ 0.0
合		計		984. 2	925. 1	<b>▲</b> 59. 1
負	債					
固	定	負 亻	責	665. 7	<u>629. 5</u>	<u>▲ 36.2</u>
流	動	負 化	責	125. 0	<u>135. 1</u>	<u>10. 1</u>
j j	卡 払	3	金	57. 6	66.3	8. 7
Ž	その他流	動負	責	67. 4	68.8	1.4
	計			790. 7	764. 6	<b>▲</b> 26. 1
純	資 産					
資	本	3	金	181. 4	<u>181. 4</u>	0.0
言	安立団体	出資金	金	181. 4	181.4	0.0
資	本 剰	余	金	8.4	<u>9. 5</u>	<u>1. 1</u>
利	益 剰	余	金	<u>3. 7</u>	<u>▲ 30.4</u>	<u>▲ 34.1</u>
	計			193. 5	160. 5	<b>▲</b> 33.0
合		計		984. 2	925. 1	<b>▲</b> 59. 1

### 2 施設整備・医療機器等購入について

### (1) 概要

安佐市民病院の建替えに係る整備費を除き、施設整備・医療機器等購入は、中期計画で令和 4~令和 7 年度の 4 か年の事業費総額 124.2 億円を定め、その範囲内で必要な整備を行うこととしている。

6 年度の事業費は、予算の 43 億円に対し、決算は 26.9 億円となったが、工期・納期が令和 7 年度に及ぶため、翌年度へ事業費を繰越した 13.2 億円と合わせた合計事業費は、40.1 億円で、執行残は 2.9 億円である。

### (2) 施設整備

施設整備は、広島市民病院が Wi-Fi 環境整備工事外 7.9 億円、舟入市民病院が本館水冷式ブラインチラーユニット改修工事外 2 億円の合計 9.9 億円を実施した。

### (3) 医療機器等購入

医療機器等は、広島市民病院が診断支援画像ネットワークシステム外 10 億円、安佐市民病院が超音 波診断装置外 0.1 億円、舟入市民病院が超音波診断装置外 0.5 億円、リハビリテーション病院が磁気共鳴診断撮影装置 (1.5T) 外 1.6 億円の合計 12.2 億円を購入した。

<u>(表</u>	(表8) 令和6年度施設整備・医療機器等購入の内訳 単位:億円											
	区分	6年度予算 ①	6年度決算 ②	7年度への 繰越 ③	合計 ④ (2+3)	差引 ①-④	主な整備内容					
広	施設整備	16.2	<u>7.9</u>	7.5	15.4	0.8	Wi-Fi環境整備工事外					
島市	医療機器等購入	15.4	<u>10.0</u>	4.2	14.2	1.2	診断支援画像ネットワークシステム外					
民病	電子カルテ更新整備	1.6	1.6	1	1.6	0.0						
院	計	33.2	19.5	11.7	31.2	2.0						
安	施設整備	-	-	1	-	-						
佐市	医療機器等購入	0.1	<u>0.1</u>	-	0.1	0.0	超音波診断装置外					
民病	電子カルテ更新整備	-	-	-	0.0	0.0						
院	<b>**</b>	0.1	0.1	1	0.1	0.0						
舟	施設整備	4.3	<u>2.0</u>	1.5	3.5	0.8	本館水冷式ブラインチラーユニット改修工事外					
入市	医療機器等購入	0.5	<u>0.5</u>	1	0.5	0.0	超音波診断装置外					
民病	電子カルテ更新整備	1	-	1	0.0	0.0						
院	計	4.8	2.5	1.5	4.0	0.8						
リハ	施設整備	-	1	1	0.0	0.0						
ビリ病テ	医療機器等購入	1.7	<u>1.6</u>	1	1.6	0.1	磁気共鳴診断撮影装置(1.5T)外					
院ーシ	電子カルテ更新整備	3.2	3.2	1	3.2	0.0						
ョン	<b>**</b>	4.9	4.8	0.0	4.8	0.1						
	施設整備	20.5	9.9	9.0	18.9	1.6						
合	医療機器等購入	17.7	<u>12.2</u>	4.2	16.4	1.3						
計	電子カルテ更新整備	4.8	4.8	-	4.8	0.0						
	計	<u>43.0</u>	<u>26.9</u>	<u>13.2</u>	<u>40.1</u>	2.9						

# 3 企業債(移行前地方債償還債務)・長期借入金の状況

企業債 (移行前地方債償還債務)・長期借入金については、6 年度中に 13.7 億円借入れ、48 億円の償還を行ったため、6 年度末の残高は 482.1 億円となり、5 年度末残高から 34.3 億円減少した。

(表10) 企業債(移行前地方債償還債務)・長期借入金の推移

単位:億円

		6年度中の	借入•償還		増▲減
区分	5年度末残高 A	当期増加	当期減少	6年度末残高 B	B - A ▲ 9.4
広島市民病院	152.3	8.9	18.3	142.9	<b>▲</b> 9.4
安佐市民病院	298.7	0.1	20.3	278.5	<b>▲</b> 20.2
舟入市民病院	25.0	2.0	6.2	20.8	<b>▲</b> 4.2
リハヒ゛リテーション病院	40.4	2.7	3.2	39.9	<b>▲</b> 0.5
合 計	516.4	<u>13.7</u>	<u>48.0</u>	<u>482.1</u>	<u>▲ 34.3</u>

## 4 留保資金の状況

留保資金は、5 年度末残高は 200.3 億円であったが、6 年度末残高は 154.1 億円となり、46.2 億円減少した。

(表11)6年度末留保資金の病院別内訳

· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			一位:1813
区分	5年度末残高 A 6年度末残高 E		増 ▲ 減 B-A
広島市民病院	78.1	54.3	<b>▲</b> 23.8
安佐市民病院	93.5	79.2	<b>▲</b> 14.3
舟入市民病院	28.7	20.6	▲ 8.1
合計	200.3	<u>154.1</u>	<u>▲ 46.2</u>

# 資 料 編

## 1 各年度決算比較

## (1) 収支の状況

(表1) 収支の推移

単位		155	
HH 4\1	•	1百	щ.

12	/	4人人(7)) 庄1岁				单位: 億円
		区 分	3年度	4年度	5年度	6年度
		入院収入	358.7	366.1	381.7	389.9
		対前年度増減	-	7.4	15.6	8.2
		外来収入	165.9	173.7	185.3	191.1
	医	対前年度増減	-	7.8	11.6	5.8
	業収	小 計	524.6	539.8	567.0	581.0
	益	対前年度増減	-	15.2	27.2	14.0
収		その他	9.0	8.8	9.7	10.1
		対前年度増減	-	<b>▲</b> 0.2	0.9	0.4
入		計	533.6	548.6	576.7	591.1
3	運営	営費負担金•交付金	45.0	49.0	47.2	53.2
Å	勑	<i>計前年度増減</i>	-	4.0	<b>1</b> .8	6.0
	その	)他収入	51.0	35.5	16.3	11.4
	夵	†前年度増減	-	<b>▲</b> 15.5	<b>1</b> 19.2	<b>4</b> .9
		合 計	629.6	633.1	640.2	655.7
<u> </u>	최	<i>計前年度増減</i>	-	3.5	7.1	15.5
	給与	产費	295.4	302.2	308.3	328.3
	夵	<i>前年度増減</i>	-	6.8	6.1	20.0
	材料	斗費	182.4	189.5	208.1	217.4
	夵	<i>前年度増減</i>	-	7.1	18.6	9.3
	経費	<b>书</b>	77.5	90.6	87.0	91.2
支	夵	<i> 前年度増減</i>	-	13.1	<b>▲</b> 3.6	4.2
出	減值	<b></b> 面償却費	44.2	45.0	46.7	45.5
	夵	<i> 前年度増減</i>	-	0.8	1.7	<b>1</b> .2
	その	)他	8.2	17.4	11.5	7.4
	夵	<i> 前年度増減</i>	-	9.2	<b>▲</b> 5.9	<b>▲</b> 4.1
		合 計	607.7	644.7	661.6	689.8
	夵	#前年度増減	-	37.0	16.9	28.2
	_	差引損益	21.9	<b>▲</b> 11.6	<b>▲</b> 21.4	<b>▲</b> 34.1
対	前年	度増減	_	<b>▲</b> 33.5	<b>▲</b> 9.8	<b>▲</b> 12.7

<sup>※「</sup>その他」の内訳は、以下のとおり

① 医業収益の「その他」は、室料差額収益、人間ドック等の公衆衛生活動収益及び診断書料等の

② 収入の「その他」は、補助金等収益、寄附金収益、自立訓練施設収益、預金利息等の財務収益

③ 支出の「その他」は、資産減耗費、研究研修費、支払利息及び雑支出

# (2) 収入の状況

(表2)入院収入

114	14	倍田	

				<u> </u>
区 分	3年度	4年度	5年度	6年度
広島市民病院	205.6	208.7	214.0	220.5
対前年度増減	-	3.1	<i>5.3</i>	<i>6.5</i>
安佐市民病院	120.8	125.2	134.9	136.3
対前年度増減	-	4.4	9.7	1.4
舟入市民病院	16.5	16.6	16.9	17.3
対前年度増減	-	0.1	0.3	0.4
リハビリテーション病院	15.8	15.6	15.9	15.8
対前年度増減	-	<b>▲</b> 0.2	0.3	<b>▲</b> 0.1
計	358.7	366.1	381.7	389.9
対前年度増減	-	7.4	15.6	<b>8.</b> 2

# (表3) 病床利用率

単位:%

区分	3年度	4年度	5年度	6年度
広島市民病院	83.8	82.5	82.3	83.4
対前年度増減	-	<b>▲</b> 1.3	<b>▲</b> 0.2	1.1
安佐市民病院	73.5	83.3	87.2	85.5
対前年度増減	-	9.8	3.9	<b>1</b> .7
舟入市民病院	(52.5) 53.9	(55.0) 58.0	(57.8) 64.6	(65.7) 69.6
対前年度増減	-	(2.5) 4.1	(2.8) 6.6	(7.9) 5.0
リハビリテーション病院	93.8	91.2	92.1	92.5
対前年度増減	-	<b>▲</b> 2.6	0.9	0.4

<sup>※</sup> 舟入市民病院の( )の数値は、内科・外科のみの数値

# (表4)入院患者数

単位:人

				十四・八
区 分	3年度	4年度	5年度	6年度
広島市民病院	227,306	223,672	223,797	226,066
対前年度増減	-	<b>▲</b> 3,634	125	2,269
安佐市民病院	141,348	131,970	138,562	135,389
対前年度増減	-	<b>4</b> 9,378	6,592	<b>▲</b> 3,173
舟入市民病院	26,354	28,389	31,678	34,019
対前年度増減	-	2,035	3,289	2,341
リハビリテーション病院	34,253	33,293	33,711	33,762
対前年度増減	-	<b>4</b> 960	418	51
計	429,261	417,324	427,748	429,236
対前年度増減	-	<b>▲</b> 11,937	10,424	1,488

# (表5)新規入院患者数

(表5)新規入院患者数				単位:人
区 分	3年度	4年度	5年度	6年度
広島市民病院	19,458	19,782	19,989	20,479
対前年度増減	-	324	207	490
安佐市民病院	14,004	14,655	15,170	15,254
対前年度増減	-	651	<i>515</i>	84
舟入市民病院	3,548	3,530	4,089	4,100
対前年度増減	-	<b>4</b> 18	559	11
リハビリテーション病院	532	505	494	494
対前年度増減	-	<b>▲</b> 27	<b>4</b> 11	0
計	37,542	38,472	39,742	40,327
対前年度増減	-	930	1,270	<i>585</i>

# (表6) 平均在院日数

単位:日	

区 分	3年度	4年度	5年度	6年度
広島市民病院	10.7	10.3	10.2	10.1
対前年度増減	-	<b>▲</b> 0.4	<b>4</b> 0.1	<b>4</b> 0.1
安佐市民病院	9.1	8.0	8.2	7.8
対前年度増減	-	<b>▲</b> 1.1	0.2	<b>4</b> 0.4
舟入市民病院	6.5	7.1	6.6	7.3
対前年度増減	-	0.6	<b>▲</b> 0.5	0.7
リハビリテーション病院	68.3	72.3	73.4	73.1
対前年度増減	-	4.0	1.1	<b>▲</b> 0.3

# (表7) 入院単価/患者1人・1日当たり

畄 位・	П
里位:	

区 分	3年度	4年度	5年度	6年度
広島市民病院	90,461	93,295	95,635	97,529
対前年度増減	-	2,834	2,340	1,894
安佐市民病院	85,478	94,940	97,359	100,700
対前年度増減	-	9,462	2,419	3,341
舟入市民病院	62,672	58,684	53,409	50,900
対前年度増減	-	<b>▲</b> 3,988	<b>▲</b> 5,275	<b>▲</b> 2,509
リハビリテーション病院	46,241	46,774	47,009	46,708
対前年度増減	_	533	235	<b>4</b> 301

# (表8)手術件数

単位	:	件	
曲			

				<u> </u>
区 分	3年度	4年度	5年度	6年度
広島市民病院	9,587	9,953	9,724	9,921
対前年度増減	-	366	<b>▲</b> 229	197
安佐市民病院	5,700	5,553	5,891	5,895
対前年度増減	-	<b>▲</b> 147	338	4
舟入市民病院	315	459	462	432
対前年度増減	-	144	3	<b>A</b> 30
リハビリテーション病院	_	_	_	_
対前年度増減	_	_	_	_
計	15,602	15,965	16,077	16,248
対前年度増減	-	363	112	171

<sup>※</sup> 件数は、手術室で行った手術件数を集計

## (表9) 救急患者数

単位:人

				- 一点・/ (
区 分	3年度	4年度	5年度	6年度
広島市民病院	22,022	23,609	27,801	28,343
対前年度増減	-	1 <b>,</b> 587	4,192	542
安佐市民病院	10,927	12,853	12,822	12,637
対前年度増減	-	1,926	<b>▲</b> 31	<b>▲</b> 185
舟入市民病院	18,790	29,394	37,811	30,191
対前年度増減	-	10,604	8,417	<b>▲</b> 7,620
リハビリテーション病院	_	_	_	_
対前年度増減	_	_	_	_
計	51,739	65,856	78,434	71,171
対前年度増減	-	14.117	12.578	<b>▲</b> 7.263

# (表10) 外来収入

表10) 外来収入 <u>単位:億円</u>					
区 分	3年度	4年度	5年度	6年度	
広島市民病院	101.8	107.8	111.0	114.7	
対前年度増減	-	6.0	<i>3.2</i>	<i>3.7</i>	
安佐市民病院	53.2	51.7	58.8	62.9	
対前年度増減	-	<b>▲</b> 1.5	7.1	4.1	
舟入市民病院	10.1	13.4	14.6	12.6	
対前年度増減	-	3.3	1.2	<b>4</b> 2.0	
リハビリテーション病院	0.8	0.8	0.9	0.9	
対前年度増減	-	0.0	0.1	0.0	
計	165.9	173.7	185.3	191.1	
対前年度増減	-	7.8	11.6	<i>5.8</i>	

## (表11) 外来患者数

(表11) 外来患者数			-	単位:人
区 分	3年度	4年度	5年度	6年度
広島市民病院	387,366	392,534	390,687	388,492
対前年度増減	-	5,168	<b>▲</b> 1,847	<b>▲</b> 2,195
安佐市民病院	178,053	174,397	182,208	186,643
対前年度増減	-	<b>▲</b> 3,656	7,811	4,435
舟入市民病院	57,704	68,354	76,685	68,451
対前年度増減	-	10,650	<i>8,331</i>	<b>▲</b> 8,234
リハビリテーション病院	8,107	8,077	8,551	8,340
対前年度増減	-	<b>4</b> 30	474	<b>▲</b> 211
計	631,230	643,362	658,131	651,926
対前年度増減	-	12,132	14,769	<b>▲</b> 6,205

## (表12) 外来単価/患者1人・1日当たり

表12) 外来単価/患者1人・1日当たり 単位:					
区 分	3年度	4年度	5年度	6年度	
広島市民病院	26,274	27,464	28,417	29,537	
対前年度増減	-	1,190	953	1,120	
安佐市民病院	29,896	29,630	32,292	33,692	
対前年度増減	-	<b>▲</b> 266	2,662	1,400	
舟入市民病院	17,547	19,525	19,066	18,391	
対前年度増減	-	1,978	<b>▲</b> 459	<b>▲</b> 675	
リハビリテーション病院	10,062	10,353	10,496	10,374	
対前年度増減	-	291	143	<b>▲</b> 122	

(表13-1) 運営費負担金・交付金の推移(損益収支分)

単位:億円

区 分	3年度	4年度	5年度	6年度
広島市民病院	19.4	16.1	15.9	16.3
対前年度増減	-	<b>▲</b> 3.3	<b>4</b> 0.2	0.4
安佐市民病院	6.7	7.6	9.4	17.6
対前年度増減	-	0.9	1.8	8.2
舟入市民病院	11.2	10.9	12.0	12.2
対前年度増減	-	<b>4</b> 0.3	1.1	0.2
リハビリテーション病院	7.2	8.1	7.0	7.1
対前年度増減	-	0.9	<b>1</b> .1	0.1
計	44.5	42.7	44.3	53.2
対前年度増減	_	<b>▲</b> 1.8	1.6	8.9

(表13-2) 運営費負担金・交付金の推移(資本収支分)

単位:億円

区 分	3年度	4年度	5年度	6年度
広島市民病院	0.0	0.0	0.0	0.0
対前年度増減	-	0.0	0.0	0.0
安佐市民病院	0.1	0.0	0.0	0.0
対前年度増減	0.1	<b>▲</b> 0.1	0.0	0.0
舟入市民病院	0.0	0.0	0.0	0.0
対前年度増減	-	0.0	0.0	0.0
リハビリテーション病院	1.2	1.2	1.2	1.2
対前年度増減	-	0.0	0.0	0.0
計	1.3	1.2	1.2	1.2
対前年度増減	0.1	<b>▲</b> 0.1	0.0	0.0

## (表14) 6年度運営費負担金・交付金の内訳

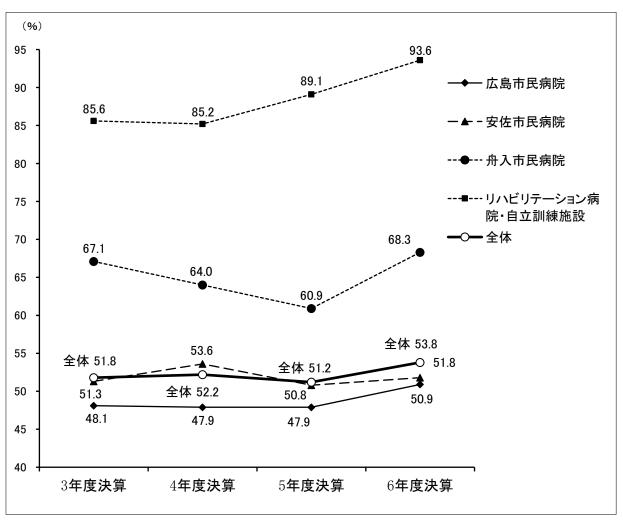
	区分	合 計	病院別			
	<u> </u>	ПП	広島市民病院	安佐市民病院	舟入市民病院	リハビリテーション病院
	1. 保健衛生行政(自立訓練施設分を含む)	3.6	0.1	0.2	0.8	2.5
	2. 救急医療	16.1	9.2	4.3	2.6	_
	3. 被爆者健診	0.1	I	I	0.1	_
	4. 看護師養成	0.5	0.3	0.1	0.1	0.0
	5. 特殊医療(リハビリテーション等)	3.6	0.0	1.2	-	2.4
	6. 感染症医療	0.5	ı	ı	0.5	_
70	7. 小児医療	2.7	I	0.7	2.0	_
損益	8. 院内保育	0.2	0.2	0.0	ı	-
収支	9. 企業債利息償還金	1.7	0.8	0.5	0.2	0.2
	10. 医師等の研究研修に要する経費	0.5	0.2	0.2	0.1	0.0
	11. 経営研修に要する経費	0.0	0.0	0.0	0.0	_
	12. 共済組合追加費用	0.6	0.2	0.3	0.1	_
	13. 退職手当(交付金)	0.3	-	ı	0.3	_
	14. 企業債元金償還金(リハ病院土地取得分を除く)	22.3	5.3	9.6	5.4	2.0
	15. 安佐市民病院北館管理に係る経費	0.5	-	0.5	-	_
	計	53.2	16.3	17.6	12.2	7.1
資本	16. 企業債元金償還金(リハ病院土地取得分)	1.2	ı	ı	ı	1.2
	슴 計	54.4	16.3	17.6	12.2	8.3

#### (3) 支出の状況

(表15) 給与費

表15) 給与費 <u>単位:億円</u>						
区 分	3年度	4年度	5年度	6年度		
広島市民病院	158.3	159.5	163.3	173.7		
対前年度増減	-	1.2	<i>3.8</i>	10.4		
安佐市民病院	94.2	99.5	101.9	108.4		
対前年度増減	-	5.3	2.4	6.5		
舟入市民病院	24.1	23.8	23.8	25.7		
対前年度増減	-	<b>4</b> 0.3	0.0	1.9		
リハビリテーション病院	18.8	19.4	19.3	20.5		
対前年度増減	-	0.6	<b>▲</b> 0.1	1.2		
計	295.4	302.2	308.3	328.3		
対前年度増減	-	6.8	6.1	20.0		

### (図1)給与費対医業収益等比率



注 給与費対医業収益等比率=(給与費/(医業収益+営業収益運営費負担金·交付金(企業債元金償還分を除く)))×100 なお2年度、3年度及び4年度は、繰入対象部門に配分した新型コロナウイルス感染症対応に係る空床確保補助金を加算した。

<sup>※</sup> 本部事務局分の給与費は、各病院の職員数、事業規模等に基づき、本部経費が充てられる割合に応じて按分し、各病院に加算している。

## (表16) 給与費の推移-職種別

(表16) 給与費の推移-職権	種別		表16) 給与費の推移-職種別 <sub>単位:億円</sub>					
区 分	区 分 3年度 4年度 5年度			6年度				
医師	68.6	68.9	69.4	74.3				
対前年度増減	-	0.3	0.5	4.9				
看護師	123.7	125.9	130.2	138.3				
対前年度増減	-	2.2	4.3	8.1				
医療技術職	38.8	40.6	42.3	44.8				
対前年度増減	-	1.8	1.7	2.5				
事務	9.4	9.5	9.4	10.0				
対前年度増減	-	0.1	<b>▲</b> 0.1	0.6				
業務員	1.4	1.5	1.6	1.7				
対前年度増減	-	0.1	0.1	0.1				
嘱託•臨時	42.6	44.7	45.6	48.8				
対前年度増減	-	2.1	0.9	3.2				

# (表17) 正規職員数の推移

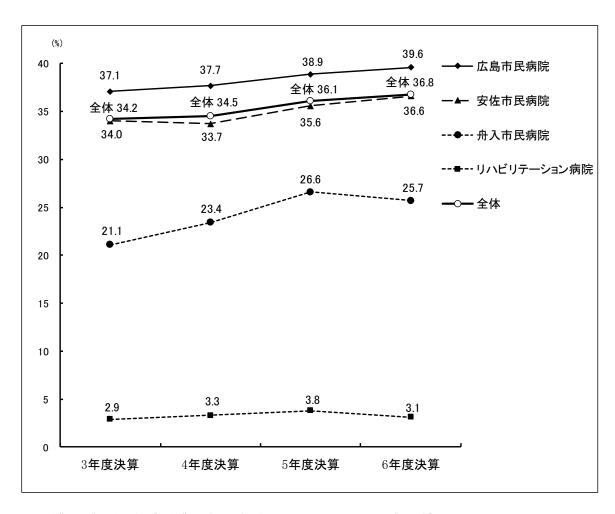
表 17) 正規 職員 数 の 推移 単位: 人					
区 分 3年度 4		4年度	5年度	6年度	
医師	344	343	350	361	
対前年度増減	-	<b>4</b> 1	7	11	
看護師	1,427	1,421	1,430	1,489	
対前年度増減	-	<b>▲</b> 6	9	59	
医療技術職	536	554	578	599	
対前年度増減	-	18	24	21	
事務	120	121	123	124	
対前年度増減	-	1	2	1	
業務員	21	22	22	21	
対前年度増減	-	1	0	<b>4</b> 1	
計	2,448	2,461	2,503	2,594	
対前年度増減	-	13	42	91	

<sup>※</sup> 職員数は各月の給与支給人員の平均

(表18) 材料費

(表18) 材料費				単位:億円
区 分	3年度	4年度	5年度	6年度
広島市民病院	116.2	121.1	128.8	135.0
対前年度増減	-	4.9	<i>7.7</i>	6.2
安佐市民病院	59.9	60.5	70.0	73.9
対前年度増減	-	0.6	9.5	3.9
舟入市民病院	5.8	7.3	8.6	8.0
対前年度増減	-	1.5	1.3	<b>4</b> 0.6
リハビリテーション病院	0.5	0.6	0.7	0.5
対前年度増減	-	0.1	0.1	<b>▲</b> 0.2
計	182.4	189.5	208.1	217.4
対前年度増減	-	7.1	18.6	9.3

## (図2) 材料費対医業収益比率

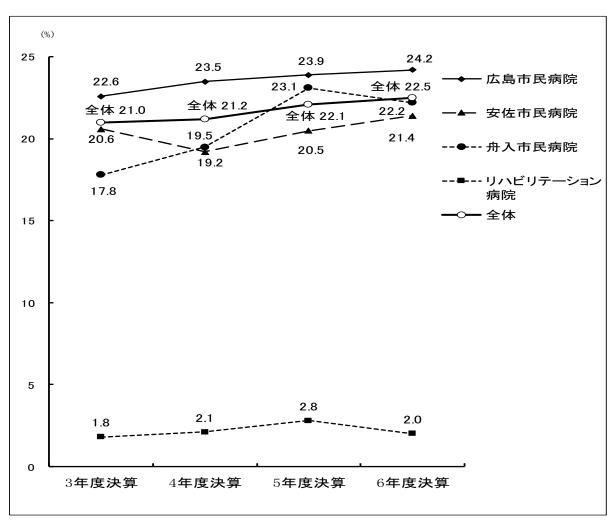


注 材料費対医業収益比率=[材料費/医業収益(入院収入+外来収入+その他医業収入)]×100

(表19) 材料費のうち薬品費

〔表19〕材料費のうち薬品費				
区 分	3年度	4年度	5年度	6年度
広島市民病院	70.8	75.4	79.2	82.6
対前年度増減	-	4.6	<i>3.8</i>	3.4
安佐市民病院	36.3	34.4	40.3	43.2
対前年度増減	-	<b>▲</b> 1.9	5.9	2.9
舟入市民病院	4.9	6.1	7.5	6.9
対前年度増減	-	1.2	1.4	<b>4</b> 0.6
リハビリテーション病院	0.3	0.4	0.5	0.3
対前年度増減	-	0.1	0.1	<b>▲</b> 0.2
計	112.3	116.3	127.5	133.0
対前年度増減	-	4.0	11.2	<i>5.5</i>

## (図3) 薬品費対医業収益比率



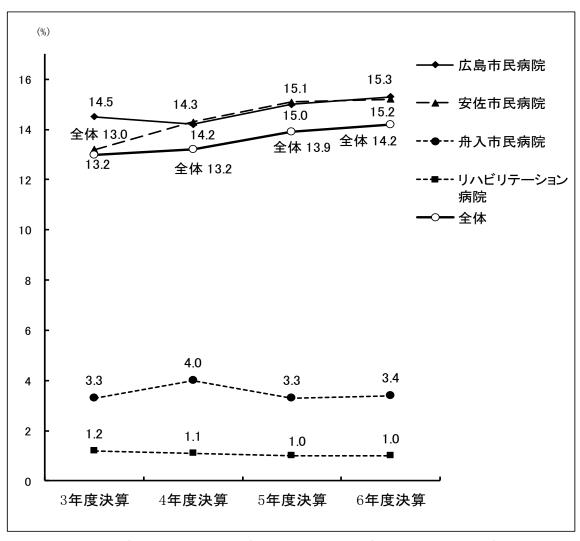
注 薬品費対医業収益比率=[薬品費/医業収益(入院収入+外来収入+その他医業収入)]×100

### (表20) 材料費のうち診療材料費

単位: 億円

2=0, 134120, 200 200 200 200 200 200 200 200 200				半位: 18円
区 分	3年度	4年度	5年度	6年度
広島市民病院	45.3	45.5	49.5	52.3
対前年度増減	-	0.2	4.0	2.8
安佐市民病院	23.2	25.7	29.6	30.7
対前年度増減	-	2.5	3.9	1.1
舟入市民病院	0.9	1.2	1.1	1.0
対前年度増減	-	0.3	<b>▲</b> 0.1	<b>▲</b> 0.1
リハビリテーション病院	0.2	0.2	0.2	0.2
対前年度増減	-	0.0	0.0	0.0
計	69.6	72.6	80.4	84.2
対前年度増減	-	3.0	7.8	3.8

## (図4) 診療材料費対医業収益比率



注 診療材料費対医業収益比率=[診療材料費/医業収益(入院収入+外来収入+その他医業収入)]×100

※ 材料費の内訳として主なものを記載しており、この他に、給食材料費、医療消耗備品費があることから内訳の合計額は、材料費の決算額とは一致しない。

(表21) 経費

(衣4) 柱負				単位:億円
区 分	3年度	4年度	5年度	6年度
広島市民病院	39.3	42.0	43.0	45.1
対前年度増減	-	2.7	1.0	2.1
安佐市民病院	23.9	33.1	29.6	31.0
対前年度増減	_	9.2	<b>▲</b> 3.5	1.4
舟入市民病院	9.4	10.2	9.2	9.5
対前年度増減	-	0.8	<b>1</b> .0	0.3
リハビリテーション病院	4.9	5.3	5.2	5.6
対前年度増減	-	0.4	<b>▲</b> 0.1	0.4
計	77.5	90.6	87.0	91.2
対前年度増減	_	13.1	<b>▲</b> 3.6	4.2

(表22) 減価償却費

(表22) 減価償却費				単位:億円
区 分	3年度	4年度	5年度	6年度
広島市民病院	21.6	19.5	19.8	19.1
対前年度増減	-	<b>▲</b> 2.1	0.3	<b>▲</b> 0.7
安佐市民病院	17.9	21.4	22.4	22.0
対前年度増減	-	<i>3.5</i>	1.0	<b>▲</b> 0.4
舟入市民病院	2.5	2.3	3.2	3.4
対前年度増減	-	<b>▲</b> 0.2	0.9	0.2
リハビリテーション病院	2.2	1.8	1.3	1.0
対前年度増減	-	<b>▲</b> 0.4	<b>▲</b> 0.5	<b>▲</b> 0.3
計	44.2	45.0	46.7	45.5
対前年度増減	-	0.8	1.7	<b>▲</b> 1.2

# (表23) その他の支出

## ア 費目別

厂 复日別				単位:億円
区 分	3年度	4年度	5年度	6年度
資産減耗費	0.2	1.6	0.8	0.5
対前年度増減	-	1.4	<b>▲</b> 0.8	<b>▲</b> 0.3
過年度損益修正損	1.4	0.9	1.6	0.7
対前年度増減	-	<b>▲</b> 0.5	0.7	<b>▲</b> 0.9
長期借入金•移行前地方債利息	4.6	5.0	4.8	4.1
対前年度増減	-	0.4	<b>4</b> 0.2	<b>4</b> 0.7
その他	2.0	9.9	4.3	2.1
対前年度増減	-	7.9	<b>▲</b> 5.6	<b>▲</b> 2.2
計	8.2	17.4	11.5	7.4
対前年度増減	-	9.2	<b>▲</b> 5.9	<b>4</b> .1

# (表23) その他支出 病院別

## イ 病院別

イ 病院別				単位:億円
区 分	3年度	4年度	5年度	6年度
広島市民病院	4.4	4.1	4.7	4.0
対前年度増減	-	<b>▲</b> 0.3	0.6	<b>▲</b> 0.7
安佐市民病院	2.1	11.7	5.6	2.4
対前年度増減	_	9.6	<b>▲</b> 6.1	<b>▲</b> 3.2
舟入市民病院	1.1	1.1	0.8	0.5
対前年度増減	_	0.0	<b>▲</b> 0.3	<b>▲</b> 0.3
リハビリテーション病院	0.6	0.5	0.4	0.5
対前年度増減	-	<b>▲</b> 0.1	<b>▲</b> 0.1	0.1
計	8.2	17.4	11.5	7.4
対前年度増減	-	9.2	<b>▲</b> 5.9	<b>4</b> .1